

編集後記

1月の能登半島の震災後も、日本全国で大きな地震や台風の風水害による甚大な被災状況が続いています。そのような場では看護職の力が求められ、また超高齢化社会の2025年問題が目前であり、そこでもやはり看護職は求められています。しかし現実には臨地・臨床の看護職の労働環境が改善されているとは言い切れず離職も問題になっており、需要の多さに対して大幅な看護職の不足が予測されています（『日本医療労働組合連合会が今春、全国の125施設を対象に実施した調査によると、4月の募集人員に対して「充足していない」と答えた施設は67%にのぼる』朝日新聞 2024年08月26日）。

看護の研究は患者・利用者へのケアの質向上はもちろん、研究成果により看護職の負担が減るような利があるものであって欲しいと願っています。臨床の看護ケアの中での小さな気づき、小さな疑問、そこから看護研究は始まります。些細なことだと思っても外に向けて発表することができれば、他の看護職の役に立つ可能性があります。せいの看護学会は一症例の報告、一つの病棟の実践であっても発表が可能な場です。利用者・患者さんのために、さらに看護職のためにもぜひ研究としてまとめ、せいの看護学会誌に投稿して下さることをお待ちしております。

(文責：宮谷 恵)

「せいの看護学会」編集委員会

委員長 ————— 久保田君枝

委員 ————— 宮谷 恵、山下香枝子、天野 薫、松本有希

<事務局> 氏原恵子、早川ゆかり、山崎淑恵、岩瀬美保

<会計> 村松美恵、山本智子

※本学会誌に掲載された論文等の著作権はせいの看護学会に帰属する。

せいの看護学会誌*

Journal of Seirei Society of Nursing Science

第15巻 第1号 2024年9月30日発行

発行 せいの看護学会

〒433-8558 静岡県浜松市中央区三方原町3453

聖隷クリストファー大学内

FAX 053-439-1406

印刷 松本印刷株式会社

〒435-0048 静岡県浜松市中央区上西町8の3

TEL 053-464-8359